

第4回 新県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議 次第

令和8年9月17日（木）午後1時～

静岡県庁別館9階特別第一会議室

1 開会

2 報告事項

- (1) 第3回会議の開催結果、有識者会議意見への対応
- (2) 県民意見募集等の実施結果（市町立図書館、パブリックコメント）

3 意見交換

- (1) 若者世代が期待する新県立図書館の役割や機能等

A I 社会の到来など、これから先の未来（10年、20年後）を見据えて、新しい県立中央図書館に期待する機能とは何か？

- (2) 基本構想改定案

パブリックコメントや若者意見などを踏まえ、基本構想改定案について協議

4 閉会

<資料>

- 資料1 第3回新県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議における主な意見
- 資料2 新県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議意見への対応
- 資料3 県民意見募集等の実施結果（概要）
- 資料4 意見交換の論点

<別冊資料>

- ・新県立中央図書館基本構想改定案
- ・新県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議委員意見
- ・新県立中央図書館の整備に関する市町立図書館アンケート調査結果
- ・新県立中央図書館基本構想改定案 パブリックコメントにおける御意見及びそれに対する県の考え方
- ・新県立中央図書館基本構想改定案へのこども・若者の意見聴取
- ・参考資料集（現構想、関連データ等）

新県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議

<委員>

役 職	氏 名
青山社中株式会社筆頭代表 CEO 福井県立大学客員教授	朝比奈 一郎
青山学院大学教育人間科学部教授	野末 俊比古
静岡文化芸術大学文化政策学部教授	林 左和子
袋井市教育委員会生涯学習課長 (前 市立袋井図書館兼浅羽図書館長)	小久江 暁子
静岡図書館友の会代表	川村 美智
アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役	岡本 真
株式会社谷島屋静岡営業部部長	岩田 勝
静岡大学情報学部助教	伊 夢瑛

<大学生>

大学・学部等		氏 名
静岡大学教育学部		白石 天晴
静岡文化芸術大学	文化政策学部	鈴木 彩菜
	デザイン学部	宮嶋 羅布菜
静岡理工科大学大学院システム工学専攻		古賀 涼介
常葉大学教育学部生涯学習学科		片瀬 愛理
日本大学国際関係学部		上原 菜月
		佐藤 法哉
		丸山 佳大
放送大学教養学部		伊藤 ミモザ

<事務局>

職 名	氏 名
静岡県教育委員会教育長	前澤 綾子
静岡県教育委員会教育部長	山下 英作
静岡県スポーツ・文化観光部部長代理	川口 茂則
静岡県スポーツ・文化観光部参事 (東静岡周辺整備担当)	小澤 和久
静岡県立中央図書館長	渡辺 賢一
静岡県教育委員会社会教育課 新図書館企画室長	小須賀 拓也

第3回 新静岡県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議における主な意見

(蔵書の分散保管)

- ・ 一体保管が望ましいが、分散保管によるコストメリットは理解できる。資料を置くスペースより利用者が活動するスペースにした方が良く、コスト以外の分散化の目的やメリットを整理して検討すると良い。
- ・ 低水準である今の資料の利用状況だけではなく、東静岡に移転した場合を想定した検討が必要。近年整備された県立図書館の開架冊数は30万冊程度が主流である。
- ・ デジタルで閲覧できる資料など、書庫から出し入れする必要の無い資料を外部保管するのが良い。資料のデジタル化を前提に、アーカイブ機能に特化するという攻めの観点で書庫を検討されたい。
- ・ 分散にあたっては、単純な利用頻度だけでなく、情報の緊急性や性質に合わせた丁寧なシミュレーションが必要。また、書庫の資料を死蔵にしないために検索・閲覧環境を整備するべき。

(東静岡周辺施設から図書館に対する意見)

- ・ 公共ホールと図書館は親和性が高く、共同して人を呼び込む取組が可能。
- ・ 本を借りる場所ではなく、人を繋ぐ交流拠点となることを期待する。
- ・ 新アリーナでは周辺への波及効果が望まれている。新図書館も市内外から利用者が来る施設であり、各施設が繋がり、点ではなく面でのまちづくりを進めたい。

(交流機能)

- ・ 図書館ならではの交流機能を優先するべき。
- ・ 利用者の来館を待つだけでなく、図書館の機能の一部を外に持ち出す出張型・地域連携型の図書館サービスを展開できるとよい。
- ・ 紙の本だけでなくデジタル資料も含めて、人々がより広い概念で「本」や「情報」に触れられる場にするべき。
- ・ 建物については、建築的な美しさと優れた図書館機能は相反するものではない。図書館機能と美しさが両立する、機能美に優れたデザインにするべき。

(構想改定素案)

- ・ これまでの意見を盛り込んであり、評価できる。
- ・ 全国的に見て県立図書館は直営であることが現実的である。
- ・ 本会議で求められている機能や業務に対応するためには、修士号の取得など専門性の高い人材を本気で育成・強化する方針が必要。
- ・ 貸出冊数や入館者数による評価は県立図書館の高度なレファレンスや市町支援の実態にそぐわないため、新たな評価指標を検討しておくべき。

(1) 主な意見

区分	意見概要	対応	
理念	今の <u>県立図書館の「良さ」を引き継ぐことが重要</u>	御意見を踏まえ構想に反映 【第4-1(1)記載済】	基本構想に新図書館の方向性として明示し、市町立図書館支援や豊富な蔵書などの強みを発展的に継承するだけでなく、非来館型サービスの充実を目指す
理念	広い静岡県では、 <u>全県に向けた非来館型の図書館サービスの充実が重要</u>	御意見を踏まえ構想に反映 【第4-1(2)記載済】	
理念	<u>次世代、未来のために向き合う図書館</u> という強いコンセプトの打ち出し	御意見を踏まえ構想に反映 【第4-3(1)～(3)記載済】	教育機関等と連携して学生サービスを強化、気軽に集える空間の在り方を検討する
連携・協働	地域の課題を自ら発掘し、多様な主体と情報・活動を結びつける <u>能動的なコーディネート機能</u> を発揮すべき	御意見を踏まえ構想に反映 【第4-3(1)ア③記載済】	関係機関等との協力や出張活動などの能動的な姿勢により、課題の発掘から解決を一体的に進める方法を検討する
利用環境	<u>資料利用のあり方の多様化</u> を踏まえ、人々が「情報」に触れられる場とする	今後の参考とする	多様な読書スタイルや情報取得の環境変化について、今後の動向を注視し対応する

新県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議意見への対応

区分	意見概要		対応
デジタル	<u>資料のデジタル化推進やデジタル資料提供のための図書館間ネットワークの構築が重要</u>	御意見を踏まえ構想に反映【第4-3(2)ア①追加】	資料のデジタル化体制の強化や、県内図書館間でのシステム連携のさらなる推進を検討する
連携・協働	<u>東静岡周辺施設との連携・回遊性、図書館らしさにこだわった賑わいを目指すべき</u>	御意見を踏まえ構想に反映【第4-3(3)記載済】	周辺施設との相互連携により、図書館が持つ資料・情報を活かしたエリアの魅力向上を図る
資料管理	<u>分散保管する場合、資料の性質に応じた緻密な運用の検証と検索機能の強化が必要</u>	今後の参考とする	資料の適時性や重要度に応じた配置や配送体制の構築、検索機能の強化を進める
人材	<u>人材育成は非常に重要であり、司書の職員による直営方式での運営が望ましい</u>	今後の参考とする	専門性の持続的な確保は重要であり、今後改定を予定している「基本計画」等において具体的に検討する

(2) 今後の対応

- ・ 基本構想改定版を10月下旬に公表
- ・ 新図書館の基本計画の改定や、東静岡の事業手法の検討に繋げるため、新図書館の機能等の詳細な検討や民間事業者へのサウンディング調査を実施する

1 県内の市町立図書館

(1) 調査概要

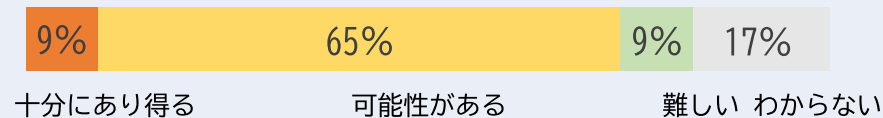
趣旨	新県立中央図書館整備に関する意見を聴取
対象	県内の市町立図書館 回答数：34館
時期	令和8年6月

(2) a 意見概要（選択式）

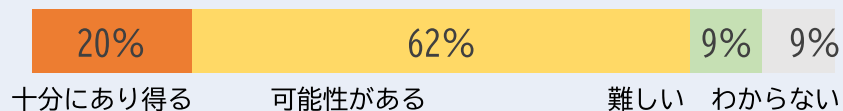
システム共同利用への期待

デジタル資料の共同利用に前向き

・電子書籍サービスの共同利用



・有料データベースの共同契約



※デジタルアーカイブはR7年度調査で60%(21館)が県立システムへの掲載を希望・検討すると回答

市町支援で特に望むこと（3つ）

単なるインフラ・コンテンツの提供より、現場の課題解決やノウハウ共有に繋がる支援が求められている。

- 1位 職員研修の充実…71%
- 2位 運営・サービス相談…56%
- 3位 レファレンス支援…41%
- 4位 資料搬送の強化…35%
- 5位 地域資料データの提供…32%
- 6位 子ども図書研究室関連事業…15%
- 7位 司書派遣イベント…9%

県民意見募集等の実施結果（概要）

1 市町立図書館

(2) b 意見概要（自由記述）

区分	意見概要	対応	
資料保存	収蔵コストから除籍は理解できる	御意見の趣旨を踏まえて取り組む 【第4-3(1)ア①記載済】	資料の内容を鑑み、合理的な基準を設けた上で、除籍を含む適切な蔵書の維持管理に努める
資料保存	お金で買えない価値があり、 <u>除籍は慎重にするべき</u>		
資料保存	逐次刊行物の <u>分担収集</u> や、県内で <u>ラスト2冊を残す仕組み</u> を議論する場を設けてはどうか	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	実務者による協議を実施し、相互に資料を補完し合うルール作りを検討する
デジタル	電子書籍、デジタルアーカイブ等システム共同利用、 <u>デジタル化支援は前向きに進めてほしい</u>	御意見を踏まえ構想に反映 【第4-3(2)ア①追加】	県全体の利便性向上のため、デジタル化を支援し、システム共同利用を検討する
機能性	集客重視ではなく、 <u>機能美や実務優先</u> としてほしい	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	今後改定を予定している基本計画等において新図書館の機能を更に具体化し、機能性と魅力の両立を目指す
魅力向上	一般利用者が <u>来たくなる、使いたくなる図書館</u> にしてほしい		

県民意見募集等の実施結果（概要）

2 パブリックコメント

(1) 調査概要

趣旨	新県立中央図書館基本構想（改定案）に対する県民意見を募集
意見件数	79件
期間	令和8年8月7日～9月1日（26日間）

(2) 主な意見

区分	意見概要	対応	
全般	<u>A I 時代に本や図書館に求められる役割を明確化し、基本理念に位置づけること。</u>	御意見を踏まえ構想に反映	A I の進展などにより本や図書館での「正しい情報を入手する重要性の高まり」を追加し、こうした時代の変化や県民ニーズの多様化に対応した図書館を目指す。【第4-3追加】
資料のデジタル化	<u>資料のデジタル化により、広い静岡県全体へのサービス向上が必要。</u>	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	情報セキュリティ対策やデジタルディバイド解消に留意しつつ、 <u>デジタル技術の活用により全県的なサービスの向上を図る。</u>

県民意見募集等の実施結果（概要）

2 パブリックコメント

区分	意見概要	対応	
広報	多くの県民に利用される図書館となるよう、 <u>若者や潜在利用者への広報を強化</u> 。	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	より多くの県民に情報が届くよう、 <u>東静岡駅前</u> の立地も活かしながら、 <u>広報・発信機能を強化</u> する。
周辺施設等との連携	グランシップ等の <u>周辺施設や多様な機関と連携し、文化的・学術的交流や、企業・人が集まる街づくり</u> に期待。	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	東静岡駅前の立地を最大限に活かし、 <u>エリア一帯で活動と情報をつなぎ、相乗効果を生み出し、新たな出会いや知的交流に寄与</u> 。
書庫・収蔵能力	<u>十分な収蔵能力を確保して、一体的に保管すべき。分散保管の場合は利用者の利便性や保存の確実性を優先して検討</u> 。	今後の参考とする	収蔵能力や利便性等の確保は重要であり、御意見を参考に、今後改定を予定している「 <u>基本計画</u> 」等において具体的に検討する。
管理運営	県全体の図書館支援を担える <u>専門性を有する司書の確保が必要。図書館の中核部分の民営化は慎重</u> になるべき。	今後の参考とする	専門性の持続的な確保は重要であり、御意見を参考に、今後改定を予定している「 <u>基本計画</u> 」等において具体的に検討する。

<これまでの有識者会議での議論の状況>

- ・これまでの3回の会議を通じて、県立図書館の目指す姿や役割、市町立との役割分担、蔵書管理の在り方、新たな交流機能など、様々な論点について御意見を伺い、基本構想改定案の検討を進めてきた。
- ・その中で、将来の利用者となる「若者をターゲットとすべき」との意見をいただいた。
- ・特に、A I が飛躍的に進展し、調べものは書籍や文献で調べるのではなく、A I に相談する傾向が高まっていく中、A I ネイティブの若者世代にとって、リアルな場として整備する新県立図書館の意義や価値について議論が必要。

<学生の皆さんに伺いたいこと>

- ・A I 社会の到来など、これから先の将来（10年、20年後）を見据えて、新しい県立中央図書館に期待する機能とは何か？

（参考）新県立中央図書館に対する若者意見（概要）

「こえのもりしずおか」（こども・若者の声を聞くオンラインプラットフォーム）

（1）調査概要

趣旨	新県立中央図書館の整備に向けたアンケートを募集
対象	小学生から29歳までのこども・若者 回答数：171名
期間	令和8年8月1日～31日（31日間）

（2）意見概要

問1：県立中央図書館の利用状況について（選択式・択一）

選択肢	回答数
①何度も使っている	9（7%）
②1～2回使ったことがある	11（8%）
③知っているが使ったことがない	<u>45（34%）</u>
④県立図書館があることを知らなかった	<u>66（50%）</u>

(参考) 新県立中央図書館に対する若者意見(概要)

「こえのもりしずおか」(こども・若者の声を聞くオンラインプラットフォーム)

問2：使ってみたい図書館について(複数選択可)

選択肢	回答数
①進路や仕事の本が多い	58 (34%)
②静岡県について詳しく調べることができる	35 (20%)
③調べものについて司書と一緒に探してもらえる	39 (22%)
④図書館を通じてさまざまな働く人と出会うことができる	16 (9%)
⑤その他	25 (15%)

【その他意見】

- ・ カフェ的な休憩できるスペース、勉強できるスペースがあるといい
- ・ 市町立図書館と役割が違うのであれば、市立図書館にはない本、専門書等を充実させてほしい
- ・ 県立図書館でしか学ぶことのできないことを学びたいので、専門的な分野のイベントを開催してほしいです！

問3：使いやすい図書館について(複数選択可)

選択肢	回答数
①県立図書館の本を近隣の図書館へ届けてほしい	42 (25%)
②電子書籍やデジタル資料が充実している	58 (34%)
③困りごとをチャット等で司書に相談できる	34 (20%)
④県立図書館がイベントや講座で自分の街に来てくれる	20 (12%)
⑤その他	15 (9%)

【その他意見】

- ・ 手軽に本を借りられることが重要だと思います。本の取り寄せができたり、駅の近く等利便性のよい場所に図書館があったり、図書館用の送迎バスを走らせたりなどすると使いやすいです
- ・ 各地区(志太地区とか)に図書館の支店みたいなのを置く

(参考) 新県立中央図書館に対する若者意見(概要)

「こえのもりしずおか」(こども・若者の声を聞くオンラインプラットフォーム)

問4：暮らしに対する図書館のサポートについて(複数選択可)

選択肢	回答数
①仕事についての本・情報が多い	42 (27%)
②趣味やライフスタイルなど自分の可能性を広げる本が多い	46 (29%)
③お金や健康など、生活のことで困ったときに信頼できる情報がある	32 (20%)
④さまざまな世代の人と交流できる	24 (15%)
⑤その他	14 (9%)

【その他意見】

- ・ 専門の司書さんがいて分からないところを教えてくれるサポートがほしい
- ・ 生活を豊かにし、人生の視野を広げられる場所がよい
- ・ 暮らしや趣味、仕事などを総合的にバランス良くサポートしてくれる図書館だと良いなと思います

問5：行ってみたいと思える図書館に関する自由なアイデア(記述式)

- ・ 10代向けの本や小説なども置いてあるといいと思う(僕の学校ではライトノベルなどを読んでいる人が多いから)
- ・ トークイベントなどが多く開催されると嬉しいです。体験型のコーナーがあると子供も大人も楽しめると思います
- ・ 静かにしなければいけない場所というイメージがあるので、「話していい」図書館があると使いやすい。みんなでワイワイ語り合うような
- ・ 本に興味がない人をカフェとか本に関係ないもので釣るよりも、最初から図書館を利用しに来る人のためにどう使いやすくするかが大切

(参考) 新県立中央図書館に対する若者意見(概要)

ワークショップ

(1) 実施概要

趣旨	新県立中央図書館の整備に向けた意見をワークショップにて聞き取り
対象	大学生（15名）・視覚特別支援学校生徒（3名）
期間	令和8年8月6日～9月7日 5回実施

(2) 意見概要

意見概要	内容
広報の充実	県立図書館の本を市町立図書館に取り寄せることができるなど、自分も知らなかったし、県民にもあまり認知されていないのではないかと思う。各市町の市役所で広報をするなど、まず知ってもらうことが必要。
利用者への支援体制強化	- 図書館で職員に声をかけるというのは、ハードルを感じる。 - 課題などで県立図書館を利用するときに、書庫から出納してもらわなければいけない資料が多く、少し煩わしさを感じることもある。

(参考) 新県立中央図書館に対する若者意見(概要)

ワークショップ

(2) 意見概要 (続き)

意見概要	内容
バリアフリー対応 (特に視覚障害者)	・ パソコンで検索するときに、検索結果を点字を表示する機械や検索結果を読み上げてくれるシステムを導入してほしい ・ カウンターや入り口にインターフォンを置き、本を探すサポートしてくれる人がついてくれると使いやすい
学習環境・ 勉強スペースの 充実	・ 図書館で課題や調べ物をするときに、紙の本だけではなく、インターネットの情報も一緒に調べたりすることが多いため、Wi-fi環境が整っていることは重要。紙の情報とデジタルの情報は併用できると良い。 ・ 御殿場の図書館が良かった。カフェやグループワーク等ができる会議室、個人で使える学習スペースがあると学生が図書館に来たくなるのではないか。
飲食・カフェ エリアの充実	・ 地元に本屋とカフェが一緒になっているところがあり利用している。図書館にもカフェなどがあると若い人が使うきっかけになると思う。
その他	・ 電子書籍は、読んでいて目が疲れやすいと感じる。また自分たちの世代はまだまだ電子書籍より紙の本の方が馴染みがあるため、電子書籍の方に馴染みのある世代はもう少し若い世代の子達からになるんじゃないかと思う。

意見交換の論点(2)【基本構想改定案】

- ・これまでの有識者会議での議論やパブリックコメントなどを踏まえ、基本構想改定案を取りまとめた。
- ・今後、基本構想に基づき、事業手法の検討や基本計画の改定など、新図書館の機能等について詳細な検討を進め、具体化していく。

<論点>

- ・パブリックコメントや、本日議論を深めた若者意見などを踏まえ、基本構想改定案に加筆・修正が必要と考えられる事項について確認する。

新県立中央図書館基本構想 (令和8年〇月改定)

基本理念：すべての県民の「調べる・考える・解決する・創造する」を支え、しずかおかの未来を創生する

【改定のポイント】これまでの基本構想の基本的なコンセプトを踏まえ、東静岡地区のまちづくりに沿った形で、社会情勢の変化に合わせて経済性や機能性を重視する。有識者会議の議論などの知見を活かし、県内全域へのサービス展開と、市町立図書館支援をより強化します。

NEW

2つの方向性

現県立中央図書館の長所の継承

専門資料や
地域資料等の
保存・充実



専門的な
レファレンス
(調べものの相談)



人的・物的な
市町立図書館
支援



市町立図書館の役割(地域密着:住民に身近な資料の提供、読書推進等)との違いを踏まえ、県立図書館の役割(広域支援:専門資料の保存・提供、市町立図書館の支援)を着実に果たす

県内のどこからでも 利用できるサービスの充実

市町立図書館等と
連携した資料・情報
の提供



デジタル技術
の活用



3つの目指す姿

UPDATE

1

県民の探究心に
応える情報拠点
としての図書館



多様な学び・
情報アクセス機能



静岡県の文化の
継承・発信機能



県民の
読書活動推進機能

2

県内の市町立
図書館等を強力に
支援する図書館



図書システムと
資料搬送の拠点
機能



市町立図書館
運営支援機能



その他の機関等
への支援機能

3

県民の新たな交流
や創造を生み出す
図書館



人と人、人と本が
出会い、交流する
機能



文化の
創造・発信機能



多様な知恵の
協働が生み出す
交流創造機能

施設整備の方向性

1

建設地

東静岡駅南口県有地

2

収蔵能力

150万冊上限

3

整備手法

民間活力導入 18

4

開館時期

令和10年代中頃～後半

計画等改定に向けての検討

- ・別置書庫の検討
- ・東静岡での連携
- ・管理運営への民間活力導入の検討